

一般会計決算審査特別委員会会議録

日 時 令和元年8月23日（金）

午後1時開会

場 所 役場4階大会議室

1. 出席者 委員長 大舘秀孝 副委員長 田代実
委 員 平野由里子 井上栄一 南雲まさ子 飯田一
オブザーバー 中野博議長

2. 説明者 執行側 環境上下水道課長

3. 議 題 認定第1号 平成30年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について

4. 審議の内容

委 員 長 それでは、定刻になりましたので、決算特別委員会を開催したいと思います。
(13時00分)

今回の議会は非常に猫の目議会みたいで、ころころころころ大変忙しいわけですけれども、一般会計の決算審査委員会の報告書を審議していただくわけですけれども、その前にですね、ちょっと皆さんにお伺いしますけれども、きのうたしか井上議員の質問の中で、自然エネルギー何とか、あの会社が登録会社なのかというような問題が出ました。その結論としては、何かよくわからなかったんだけど。それで、この投資的事業という、参考資料の中に投資的事業、その中のね、寄のテニスコートの芝張りかえ工事の請負者がタケオスポーツさんになってるんですけども。だからタケオスポーツさん、スポーツ…。

田 代 委 員 本年度。それは前の年度の。今年度のこと。

飯 田 委 員 じゃあまだ執行されてないのか。

委 員 長 投資的事業は今年度。これもちょっとあわせて、きのうの問題と含めてね、明快な質問をして答えをいただかないと、これ、来年度予算にかかわる問題だから、決算にもね。教育委員会を呼んで質疑をしたいと思いますが、いかがでしょうか。

田代委員 それは審査結果のあれをもらったらいけないのかね。

井上委員 指名選考委員会の。総務課が所管をしてると思いますので。

委員長 それを先にか。

議会事務局長 登録団体かどうか。じゃあ調べさせて。

井上委員 回答も、木質バイオのほうも、やはり登録、指名参加のほうの登録の関係で、総務課長が答えをしていましたので、呼んで。

田代委員 ほかにもあるでしょう。それ1つだけじゃなく。

平野委員 このタケオさんもその指名の名簿には入ってない可能性もあるという。

田代委員 それを確認したい。

委員長 違う違う、資格。業者の資格の可能性が。

平野委員 資格に入っていないかもしれない。

田代委員 普通は備品購入じゃん。

平野委員 ああ、そうかそうか。

田代委員 スポーツ屋さんだから、道具を納めるだけだよ。

委員長 工事の資格。

田代委員 工事だから、ええっていう感じを委員長は言ってるわけよ。

委員長 そうそうそう。これは非常に疑問に思う。

井上委員 あとは旧土木事務所の設計業務についても、ちょっと確認をですね、したいと思います。

委員長 その3点で。

田代委員 それと、あれは。消防法のあれ、気がついてないんだよ。その業者が、設計事務所で。

平野委員 でも、本年度、今回のこれに上がったのは、その前の30年…29年度のときも受託業者、違っている気がするんだよ。

田代委員 設計の。

平野委員 ううん。何かカイソクブンリ何とかかんとか。

田代委員 今の設計は、工事で5,000万を超えたじゃん。

平野委員 あ、それはミスだよな。

田代委員 だから、設計はどんな会社がやってたかさ。

平野委員 継続性がちょっと問題だなと思うから。

議会事務局長 エネ経会議のやつと、タケオスポーツについては指名参加資格。

委員長 それは今年度ね。

議会事務局長 言わなくていいですか。

井上委員 選考委員会、指名選考委員会の結果。

田代委員 審査結果表だよ。

飯田委員 金太郎電力って、会社が入ってるじゃん。あれはどうだ。

委員長 それも絡んでくる。

議会事務局長 旧土木事務所の設計委託については、何を。

田代委員 同じだよ。審査結果。

議会事務局長 これも資格。指名資格と、選考の結果について。

田代委員 要は、指名選考委員会をやって、競争入札だから、そのくらいの金額だったら7社ぐらい来るんですよ。7社、8社。600万だからさ。それがどういう業者が申請して、その業者になったか。それが見たいんだ。木質バイオね。

委員長 設計監理だから。消防法なんか、第1段階だ。

田代委員 それをどういうあれで選んだか。こんな最低な業者。職員の減俸よりも。

委員長 随契じゃない、2度目は。

井上委員 木質バイオマス、エネルギー…。

田代委員 関連でこっちも。これから先だ。ストップできるかもしれない。

議会事務局長 あるかどうかだけでいいですね。旧土木事務所設計…。

井上委員 の設計業務。

田代委員 と、木質バイオ。あと、あれだ…あ、そうか。それはまた後でいい。ごめんごめん、いいんだ、いいんだ。結構大事だな。

南雲委員 こんな金額でできるの。テニスコート。

平野委員 ね。

委員長 だって、継ぎはぎ。ボロ当てたみたいな感じな。

田代委員 継ぎはぎなの、継ぎはぎ。穴あいてるところに。

井上委員 できれば国際何とかエナジーについても。

田代委員 それは今年度でしょ。

平野委員 それはまた次の。

田代委員 だから次の特別委員会。小出しですよ。だから、そのESCOの。国際工業エネルギー。1億6,000万に、随契になっちゃう可能性がある。

委員長 だって、技術も何とか、聞いたべ。日本にそんな技術持ってるの、幾らでもあるべ。

田代委員 それがおかしいんだ。そんな大きい金額だからこそ指名競争入札だよ。

平野委員 だからほら、床下のさ、シロアリの工事と同じよ。ちょっと床下、見せてくださいって言って、大変なことになっていますって言って。

委員長 シロアリ商法だよ。

田代委員 私たちもう少しでゴール見えてるんだよ。これはね、是々非々ですから。本山町長のね、あれかもしれないけど。

平野委員 あの裏を見たことがある人間としてはさ、ひどい、ひどいなというのは見えているのよ。どうしてあそこのリノベーションのとき、これ、ほっぽったのっという感じなんだよね。

井上委員 だからね、そこもね。それ、さっき小澤議員が聞いてたんだけど、そのときは当然ね、予測できる話であれば、切羽詰まって出すのはおかしいよね。

平野委員 あと、過去のそういう空調関係の改修なりの、何か。

井上委員 そういうのもちゃんと定期点検の結果報告書を見ていて。

平野委員 そうそう、それができているのか。

委員長 だってさ、ボルダリングをやるときに、あわせてほら、漏水とか、みんなやったわけじゃん。

平野委員 漏水とかやってるのに、なのにエアコンに関しては何もいじってないわけでしょう。そこだよ。

田代委員 外科ばかりやって、内科でチェックしなかった。

委員長 そうそうそう。内視鏡をやらなかった。

田代委員 内視鏡やらなかったんだ。

委員長 だから無駄なお金を、同じようなところを繰り返し直すようになっちゃう。

平野委員 また剥がしてそうやってね。

委員長 そうそうそう。余計な予算が。

井上委員 でも、あれもな、補助金がつくからじゃないの。
委員長 でも、そういう時代じゃありませんよ。
田代委員 目的が漏水どめもあつたけどね。一つはね。
平野委員 あれは、そうよ。
委員長 それで、だって稼ぐ施設にしますって言ったんだからさ。稼いでないじゃないのよ。年間5万円やそこらの収入じゃ。

井上委員 実際には38年だから、50年ぐらいもつんじゃないのかよ。

平野委員 そんな、まさか。

井上委員 いや、冷温水発生装置って、そんなに考えるほど複雑な機械じゃないので。

平野委員 でもさ、普通のエアコンだって20年たつたらもう相当ぼろだよ。

井上委員 普通のエアコンって、だって、それはモーターで回してる分でしょ。モーターでコンプレッサーで回してるんですけど、冷温水発生装置って、そうじゃないんですよね。中の冷媒を温めたりすることで、温めたり、それを急激に放出したりすることによって、温度を下げたり温めたり、冷房、暖房。

議会事務局長 伝えてまいりましたけど、少しお時間いただきたいということなので。担当がちょっと今、席を離れているので。次に進めてください。

委員長 それじゃ、今、局長が言うように、時間がかかりますので、報告書の案ができましたので、局長のほうに朗読してもらって、検討していただきたいと思えます。局長、よろしくお願ひします。

議会事務局長 それでは、朗読で報告にかえさせていただきますと思います。令和元年8月26日、松田町議会議長 中野博殿。決算審査特別委員会委員長 大館秀孝。決算審査特別委員会報告書。本委員会は8月22日及び23日に、委員6名全員出席のもとに役場4階大会議室で委員会を開催し、令和元年第3回議会定例会において付託された「認定第1号平成30年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について」慎重に審査いたしましたので、次のとおり報告します。

記。1、審査の結果。採決により賛成全員で認定すべきものと決定しました。

2、審査の内容。歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がされたかを中心に審査を行いました。歳入は、自主財源の根幹である町税が減少しているのので、財源確保に引き続き取り組む必要があります。

歳出は、今後松田小学校建設工事などが予定されている中で、より厳格な執行が必要となることから、次のことについて留意されたい。

(1) ふるさと応援寄附金に対する返礼品は、魅力的な地場産品を開発するとともに、地場産業振興を図り、歳入増を図られたい。

(2) 委託事業については、今後十分な精査を行い執行されたい。

(3) 女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業は、事業費が高額にもかかわらず5年間の継続事業の関連性がわかりづらい。実施内容や、その効果を定期的に報告されたい。

(4) 木質バイオマスエネルギー計画委託事業は、議会に十分な報告がなされていないので、説明責任を果たされたい。

(5) 道路新設改良について、人口増加などを考慮して計画的かつ積極的な事業展開を図られたい。

(6) 旧寄中学校校舎の利活用について、早急に計画を策定するとともに、十分な維持管理を行うこと。

以上です。

委員長 5番のさ、人口増加などじゃない、増加策など考慮してだべ。

平野委員 そうだね。

南雲委員 意味がわからなかった、これ。

田代委員 そうだな。増加策だ。

平野委員 (3)のコンパクトシティ創生事業は、そのあと、事業費が高額にもかかわらず、5年間の事業の関連性でいいのかな。「継続」って入れなくてもいいんじゃない。

田代委員 5年間の事業の関連性。

議会事務局長 「継続」をカット。

平野委員 「継続」いらんんじゃない。

田代委員 5年間だからな。

平野委員 だって継続してないし。

委員長 これを消去。

平野委員 はい。

委員長 ほかには。

飯田委員 審査の内容の3行目なんですけど、「町税が減少しているの」ってありますけど、町税がね、減少しているのってありますけど、前年より町税は…。

田代委員 7,900万減です。

飯田委員 そうなの。

田代委員 そういうふうに出てるでしょう。7,900万減ですよ。

飯田委員 7,500万円というのは…。

田代委員 7,900万マイナス。

南雲委員 でも、これ、特殊なあれじゃん。法人の…。

田代委員 いや、じゃあ前の年もずっと決算書を追ってみなよ。

南雲委員 法人割のあれじゃないの。

田代委員 町税全部の額だよ。これからずっと減っていっちゃう。今までは減少傾向っていう言葉を使わせてもらってた。

南雲委員 この間のほら、あれじゃないの。

平野委員 説明ではね、今回の変動は前年度から…。

井上委員 この408ページの一番上の町税ですよ。

南雲委員 これはほら、特殊な要因があったって説明があった。

平野委員 そうそうそう。

南雲委員 何回も言われたじゃん。

田代委員 それは知ってるよ。ただ、その減となる割合が、2,000万とか3,000万、逆に7,900万減らないけども、また来年になると2,000万ぐらい減っちゃうだよ。過去のあれで、ふえたこと、ないんじゃない。決算で町税、ずっと減ってるよ。今までは減少傾向と言ってたんだけど、完全にこれから減になって…ごめんなさいね、しゃべって。総合計画の財政推計、町税見ていただくと、全部右肩下がりだよ。その辺も含めた中で、今回は減少傾向とよして、減だという。

平野委員 でも、今回は減少傾向と入れておいたほうがいいと思う。だから、今言ったように、南雲さんのおっしゃったように、今回の大幅減のそれは原因がわかっていて、前年度に法人税で株式譲渡があったので、前年度が、それがことしはない分が、ぽこっと減ったということが説明されていたから、減少傾向である

ことは変わらないんだけど、今回の減少はそういう理由があるので、ちょっとだから「傾向」という言葉をまだ消さないでいいと思う。

南 雲 委 員 30年度に対してだからね。

田 代 委 員 決算書持ってくるよ。

委 員 長 あるじゃんかよ。

井 上 委 員 でも、別に減少してるのは減少してるから、いいんじゃないの。

平 野 委 員 してるけど、だけどほら、いやいや、これはそれがあったからというさ、何か解説がちゃんとあったじゃない。

南 雲 委 員 だって7,900万というと、あのときの…。

委 員 長 ちょっと、雑談の時間じゃないので、ちょっと待ってね。暫時休憩、じゃあ
しまししょうか。どうぞ。 (13時15分)

委 員 長 じゃあ、再開します。 (13時17分)

「傾向」を入れるんだね。

平 野 委 員 傾向なので、だね。しているの。減少傾向なので。

委 員 長 「なので」。

平 野 委 員 「にあるので」か。減少傾向にあるので。

田 代 委 員 「傾向にある」だな。あるので。

委 員 長 ほかに。いいですか、ほかに。

じゃあ、局長、これ、直したものをつくってきて。

田 代 委 員 あと、木質バイオマスで井上議員が結構指摘されたんですけど、報告書をも
らわなくていいんですか。木質バイオマス委託事業の、だって千三百ウン十万、
1,400万近い金をつっ込んで、我々にまだ報告書が渡されてなくて、決算審議
も説明がなくて、全協でこの後やる。全員協議会で初めて三、四枚のペーパー。
それだったら、これはもうここで出してもらいましょうよ。一緒にそれをもっ
て説明を受けると。議会軽視が甚だしいですよ。5月ぐらいまでだったら…。

井 上 委 員 きのうはですね、担当課長のほうは、木質バイオマスの報告、5ミリぐら
いの厚さのやつを持っていたので、それを出すということですので、それもあわ
せて資料請求したいと思います。

平 野 委 員 じゃあ、こんなことをやって見せたやつね。

田代委員 千三百何十万か。すごいぞ。

委員長 これ、委員はもらったよな。我々は。

平野委員 ああ、もらってる。私はもらっている。

委員長 もらったよな。

平野委員 この間、報告会に出たから。

田代委員 7月21日に公表しちゃってるんだよ。

平野委員 私、出たもの。下でやったやつでしょう。

田代委員 それがね、考えられないんだよ。

平野委員 シンポジウム。だから、これを引き受けた事業者と関係してる研究者。それだあって、シンポジウムのチラシには入ってるの。ああいうことをやる前に議会に一言言ってくれればね。

田代委員 全国町村会の会合だよな。これの内容が、この間、全協で配られた内容イコール報告書の内容と、ほとんど同じなんだよ。

平野委員 そうだと思う。

田代委員 我々知らない中で、そんなこと出ちゃってよ。それはまずいよ。井上さんが持ってきた。井上さんがね。

普通は6月ぐらいに説明してさ。決算についての説明がない。ここで我々の委員会も終わりなのに、そのあとに説明だもん。

平野委員 順番がね。何かさ、もうちょっと早い時期に、数字が出ましたというのを小山田さんがフェイスブックに書いてるよね。そろそろ説明があるのかなと思っていたら、いきなりシンポジウム。

田代委員 彼はどういう位置づけになるの。

平野委員 彼はエネ経会議だよ。

田代委員 エネ経会議の会員なんだ。事務局長。そういうのが外に幾らでも出ていて、我々の議員に対しては今回初めてでしょ。きょう午後初めてでしょ。

平野委員 今まで全協でなかったでしょ。

田代委員 ない。一回もない。

平野委員 春になってからなかった。

田代委員 何もないよ。委託しっ放しで、一回もないよ。

委員長 2時から現地視察があるから、それまでぐずぐずやって時間切れ。来ないよ。書類を見つけて、ぱっと持ってくるだけなのにな。そんなに奥の集約までって書類じゃないもの。

井上委員 それに議会中に担当がないなんて、おかしいよね。

田代委員 特別委員会なのに。

井上委員 係員ぐらいだったらわかるけども。

田代委員 これでもう固めちゃうと。それで、あとは報告書やって、あとは資料で1個ずつチェックしてというあれで、それはきょうじゅうにもらいましょうよ。あしたなんて、とんでもない。あした…週明けはとんでもないよ。

(環境上下水道課長入室、資料配付)

環境上下水道課長 今、手元に紙では焼いていませんので。

田代委員 普通、報告書って、しっかりとした冊子じゃないのかよ。これ、下書きじゃないの。

環境上下水道課長 CDに。

田代委員 1,300幾らだ、これ。

環境上下水道課長 1,370万円です。電子データです。

委員長 ペーパーレス時代で。

田代委員 悪いけど、これの積算書、1,370万の積算書、持ってきてくれよ。この契約したときの金額内容だよ。だんだん、あれだぞ、悪くなるよ。へんなあればっかりやっているとき。

委員長 それでは、先にこっちを、意見書を…意見書じゃないや、報告書を仕上げております。今度は案じゃないな。じゃあ、局長、朗読をお願いします。

議会事務局長 修正箇所でもいいですか。それでは、2の審査の内容の上から3段目ですね。「歳入は自主財源の根幹である町税が減少している」を「町税が減少傾向にあるので、財源確保に引き続き取り組む必要があります。」

それから裏面をお願いします。裏面の一番上段です。「5年間の継続事業の関連性」を「5年間の事業の関連性」。

それから(5)番ですね、「道路新設改良について、人口増加」の次に「策」を入れております。

以上でございます。

委員長 今、局長のほうから説明をいただきましたけども、これでいいかどうか。何か御意見あったらお願いします。

報告書だからな、あくまでもね。

田代委員 入れりゃ、きりがいいからね。木質バイオも幾らでもあるけどさ。

委員長 それでは、報告書については、これで月曜日に報告するというので、いいでしょうか。

(「よろしくお願いします」の声あり)

田代委員 あとは竹内局長ね、すいません。依田課長が今の千三百ウン十万の設計書があると思うのよ。契約したときの内容でもいいし。内訳がわかる。冊子だったら、俺が担当のときは50万とか60万とか、冊子に印刷代も出てるはずなんだ。こんなのなんて、下書きだよ。1,400万近いんだよ。農環総でやったって、お粗末だけど、ちゃんとした冊子出したものな。これ、CDで焼いてきた。そのあれをまず出してほしいのと、それとあと、さっき井上委員が言われた、あの辺を2時まで。もし2時までに出ないだったら、あれから戻ってくる時ぐらいだろうな。全協から戻ってくる時。

平野委員 でも、CDでそれが出たのは、多分、ここから町に提出した段階が無理だというんでしょう。だから、そこからだから例えば議会にああいう形なり、配付をしてくれればいい話なんだけど。

田代委員 委員長、その配付、今、一部来てるのを、うちのほうに、全員に配付してもらおうということで。全員に。

平野委員 でも、次の全協でやるんじゃないの。

田代委員 だから、そのときに、もうもらっておけば。

委員長 委員全員に、あれは資料としてそろえておいてもらえばね。

平野委員 それは必要だと思う。

田代委員 そうすれば、提出するのは、ここで済むんですよ。あとは出来、不出来、内容のあれは、またみんなの考えだけでもね。

平野委員 ただ、やっぱりさ、いつもそうなんだけど、あのくらいの冊子を全協でいきなり渡されると、読めないですよ。

田代委員 だからダイジェスト版でいいんですよ。

平野委員 というか、だからそれに対してどんどんどんまた進んじゃうじゃないですか。だから、承知してほしい、本当に承知してほしいものと思っているなら、一回全協でその形でもらったとしても、次の全協までに皆さん目を通していただいて、もう一回詳しく話しますとかさ、そういうことがないと、はい、渡したでしょ。はい、読んだでしょ。だから説明したでしょ。になっちゃうじゃないですか。

田代委員 だから、きょうやるのは薄いやつでいいんですよ。初日に渡されたでしょ。要は決算の認定をやるときに、その成果品が議員に渡ってないというのは、とんでもないんですよ。普通は3月31日。5月…遅くても5月末ぐらいまでには、そのちゃんとした冊子が来なきゃいけない。それが入って初めてお金を払えるのは5月31日。5月31日は出納閉鎖だから、それまでに全部入らなきゃいけない。そうしたら3月末だと難しいから、一般的にはやらないというわけじゃないけどさ。

平野委員 そういえば、前あれだったね、ハンターの有害の調査、こんな冊子があったね。それをみんなに渡されたので。

田代委員 コピーをくださいよ。置いていっていいの。町の出てくると大変だから、その言われたので、コピーだけでいいだよ。

平野委員 でも、全協で配っていただければ。

井上委員 あったの、積算は。

田代委員 今コピーしてもらってる。見ていいというから、もらっちゃったら大変なことになるから。

議会事務局長 成果品を全協でお配りすれば、それで…。

委託設計の中身はわからない。

平野委員 何かハンターのこんな分厚いのを去年もらって、決算の前だったと。

田代委員 前だった、前。

平野委員 これ見て、何かなんだこりゃあって。でも、一応ああいうものを配られて。

田代委員 それがもう事前審査できないんだよ。

この金額だよ。全部国から来てる分。

いや、100分の50もあるんだよ。種類によって。

(加藤書記入室、資料配付)

加藤書記 管財係から届きまして。これはお配りするだけで大丈夫ですか。説明のほうは。

田代委員 ちょっと待機しててもらって。

加藤書記 わかりました。

田代委員 これは工事じゃん。これ、工事じゃなく、設計委託だよ。

加藤書記 設計のほうですね、わかりました。

平野委員 これは例の問題になったやつだ。工事の。

田代委員 工事はいいんだよ。

加藤書記 設計ですね。わかりました。

井上委員 加藤さん、あとあれがないよ。木質バイオマス。

田代委員 木質バイオの委託。

加藤書記 委託も。はい、わかりました。

井上委員 得意のさ、木質バイオマス、住民参加作業における配慮が必要だと書いてある。

平野委員 ボランティアじゃないと、労働力までお金が出せないという意味で。

井上委員 だから、そんなの条例化するとさ、みんながチェーンソーを持って山に行きなさいとかさ。

平野委員 だからチェーンソーの講習行ったんじゃない。

田代委員 そうですよ。

委員長 ボランティアに行くためにやったんじゃないの。

田代委員 木質バイオマスのために。

委員長 森林を守るために。

平野委員 でも、厳しいんだよね。多少ボランティア参加をしてもらったところじゃないと、切り出せないんだよね。

田代委員 竹内さん、しっかり伝えたよね。業務委託だって。松田土木事務所。

議会事務局長 委託設計、木質バイオでいいですよ。木質バイオの業務委託と、旧土木事務所の設計委託ですよ。

委員長 その審査結果。

井上委員 これは先に住民参加というのを入れるんじゃないくて、これについては不可能
なんだけど、その解決策としては、今、住民のボランティアで参加する場合には、
こういうふうにできますよと。

平野委員 出し方の問題ね。

田代委員 確認してもらわないと。

平野委員 でも、この間のシンポジウムでも、町長は、この辺はギャランティーが出せ
ない。そういう方向性が見えてきたけれども、住民にちゃんと説明ができるの
かは、考えなきゃいけないみたいな言い方してたね。

飯田委員 これはかなり、結論は出せないね。

平野委員 ああ、そうですね。

田代委員 その辺はにおわせてたね。

平野委員 需要が足りないって感じだった。需要が足りない。

飯田委員 とにかく背景にはこれの問題がある。

平野委員 需要が足りないので、経済の規模として成り立たないみたいな感じですよ。

田代委員 今、備品購入じゃなくて、工事で登録があるかどうか確認してくれって。

平野委員 テニスコートの。これ、工事って書いてある。

田代委員 普通、スポーツ品店って物品納入じゃん。

平野委員 でもね、いやいや、だから件名。張りかえ工事。

田代委員 だから、工事に登録があるかどうかの確認をしてほしいんだ。

平野委員 この番号がそうじゃないの。

田代委員 それは物品かもしれない。

委員長 工事は資格がなくちゃ工事できない。違うんだ、これは。工事っていろいろ
あるんだけど、全部その資格を持ってなきゃ、参加できない。

田代委員 この造園業なんていうのはわかる。何となく工事をやって、造園工事をやっ
てるからさ。体育用具は、これはでかい会社だから、工事も可能でね、いろん
なスポーツ施設のさ。小さい物販の会社が工事っていうのは、確かにな…。町
内業者だから、余り責めたくはないけどな。でも、やっぱりルール上どうなの
かって、あるよね。

井上委員 予算は…。

委員長 公共工事じゃなきゃいいけど。個人のをやるなら誰がやったって構わないよ。予算が何。

井上委員 それは何、需用費。

田代委員 だって、200万を超してるんでしょう。

委員長 工事請負費だよ。二百何万だよ。

平野委員 これはどこに載ってたんだ。

井上委員 予算書なんだ。

田代委員 225万6,000円だよ。

井上委員 元年度に。

田代委員 220万いってるから、需用費じゃないよ。工事請負だよ。

井上委員 今の現年度の予算らしいの。何費かな。需用費か工事請負費か。

委員長 需用費で張りかえ工事ができるのかよ。修繕かよ。

平野委員 この間さ、中学校も似たような工事あったよね。去年かな。

井上委員 工事の場合にはさ、工事請負の指名参加のそういう資格のチェックが、これ、多分ないですね。ないのに、これに入れちゃってるのはおかしい。多分、予算書はね、需用費になってるかもしれない。保健体育総務費か、体育施設費。一番最後のほう。

田代委員 保健体育と総務と、工事と。

平野委員 でも、寄だから。

田代委員 寄テニスコート芝張り工事。246万3,000円。工事請負費。

委員長 それでやってるから。

田代委員 220万で246万だから、20万ぐらい安く。それはいいんだ。あとは、だから登録したら問題ないんだ。選考委員会のあれに工事請負の登録。それが備品だと、もう全然ルールから脱してる。

委員長 張りかえる芝だけ納品したなら問題ないんだ。工事までやったというのは、やった業者は全く知らない業者ですからね。個人でやってたわけじゃないんだ。

田代委員 それでも登録してあればね。

委員長 それはもう問題ない。

田代委員 本人もそういう研修を受けて、そういう資格を持っているならさ。それであ
れだよ、登録したら問題ないんだよ。

井上委員 本来なら、施工はね。

田代委員 そう、施工は。

委員長 球場のネット張りとか、出る可能性があるから。

田代委員 結構売上は上げてるんですよ。過去のあれで。登録してる可能性あるんだろ
うな。

井上委員 これわからない、バイオマスの。

田代委員 一回来て、全部もらっちゃえばよかったな。

井上委員 もらって、見てから、ここコピーしてって言えばよかった。

田代委員 まあ、それは悪いからよ。

井上委員 これさ、コピーといってもカラーコピーなんだよね。これだけ12人分じゃ、
結構お金かかっちゃう。

平野委員 全部カラーコピーじゃないでしょ。グラフみたいのところだけカラーコピー。

井上委員 そうだけど、CDから印刷するのにカラーコピーじゃないとさ、まともに写
らない。

田代委員 千三百ウン十万の請負だからよ、安いものなんだよ。

井上委員 だからね、今コピーしようとするとな、庁内コピーになっちゃうから。

田代委員 それがないこと自体がおかしいんだよ。ありますよと見せてたから、堂々と
さ。

委員長 それは前にさ、小田君が産観の課長のときに、歳入が2,000万、こんな厚いの
を出したよな。あれでおしまいになっちゃった。成果品なんか、何もないよ。
報告書だけで終わりになっちゃった。

平野委員 今までそういうことはいっぱいあったじゃん。このハンターのほうも。そ
うでしょう。この場所に、夜中にカメラを仕掛けて。

委員長 あれだって、地元のね、猟友会さんとか、そういうのに協力してもらって、
とれば。そうしたら、国に出す報告書がつかれないと言うんだよ。

平野委員 だから報告書のほうが大事なんだよ。

委員長 ああ、やっぱり。

田代委員 外郭団体のお役人さんに、みんな行くんだよ。人件費だよ。

平野委員 報告書にこだわり抜いていると、そういうことになるんだよ。

田代委員 ああいう間に入った委託料は、国が補助金を全部出してる金額は、みんなそういうところが間で搾取してる。

平野委員 そうなんだよ。結局、だからまち・ひと・しごと創生って、結局、コンサルの仕事を引き受けてる。

委員長 だから委託しないとできない。

平野委員 本当にそういう意味じゃ、地方創生予算なんか、取らなきゃいい。

委員長 現実的に成果が上がらないもの。だめだよ。

環境上下水道課長 全協までに用意します。

田代委員 仕様書は、幾ら幾らという、要するに冊子が何冊で幾らとかさ、何の調査が幾らとかさ、設計金額だよ。これはもらっておく。要するに1,370万と出たでしょう。それだよ。

議会事務局長 見てもらったら。執行伺いだけでも。

田代委員 持ってきてよ。言いたくはないけども。

平野委員 この2人は、何でも見つけるから、探偵みたいな。

井上委員 違うよ、普通だったら何でも見てくださいって見せるんだよ。

平野委員 アドバイザリー契約をすれば、競争入札しなくていい。

田代委員 報告書及び同報告の要約版、各10。いいですか、報告書及び同報告の要約版。要するに報告書とダイジェスト版を各10部だ。それがなきゃいけない。

平野委員 出てるはずなんだ。

田代委員 1月31日まで。

平野委員 え、こんな早く。

田代委員 契約期間。

井上委員 これ、1月だもの。

平野委員 あ、本当に。もう半年たってるじゃん。

田代委員 だから、当然その報告書があっというわけだよ。この内訳の金額、1,370万か、どういう内訳よ。みんなどこかへ消えちゃうんだな。結構ね、これは補正で大分出たときに、つかかったんだよ。今回何も言ってない。これが予想された

から。

平野委員 でもまあ、100分の100だからね。

田代委員 依田課長さ、1月31日納品で、10部ずつだよ、概要版とあれ。だから概要版と成果品を見せて、数が足りないから議員さんにはコピーだよ。そういう説明をちゃんとしないと。それでいいよ。

そうだな、この後ろ、全部コピーだべ、ここから後ろ。どうします、全部もらいます。一部にします。

委員長 一部じゃ、しょうがねえべよ。

田代委員 じゃあ全員に。

あとは、一応報告書はできてるから、きょう掘り下げた内容を認識して、それで報告書はもうこのままだね。ただ、内容はすごく不適切だと思うよ。

体力を温存しておいてくださいよ。例のESCOのほうは、女性のパワーでさ。

平野委員 どうする。

井上委員 また、全協のときに配ってもらって。

委員長 どうせ間に合わないからさ、この会はここで閉めちゃおう。資料はそろったら確認で。

田代委員 そうしましょう。

委員長 そういうことにしますので、大変御苦労さまでした。 (13時47分)

この議事録は事務局が作成したものであるが、その正確なることを証するために署名いたします。

令和 元年12月 4日

一般会計決算審査

特別委員会委員長 大 舘 秀 孝